

2023 年度 第 1 回理事会 議事録

日 時：2023 年 4 月 21 日（金）15:00～16:30

場 所：ハイブリッド会議（オンライン及び機械振興会館 6 階 6D-3 会議室）

出席者：23 名（理事 15 名、監事 2 名、来賓 1 名、オブザーバー 3 名、事務局 2 名）

（会長）植田昌克 （副会長）菊地義典、池滝重隆

（常務理事）辻 勇、田中文彦、加納孝樹

（理事）新村徳弥、菊地正人、岩崎真和、高橋丈助、松波俊宣、小原敏治、達 俊彦
藤島忠康、寶角雅之

（幹事）矢都木 力、宮西啓明

（来賓）経済産業省 製造産業局 産業機械課 係長 宮下晃一様

（オブザーバー）株式会社ジェイテクトギヤシステム 取締役 松原潤治様

岐阜ギヤー工業株式会社 代表取締役社長 松波崇宣様

株式会社日伸歯車工業 専務取締役 鬼頭泰夫様

（事務局）本島浩美、矢島茂光

ご挨拶（植田会長）

新しい年度がスタートし、本日が第 1 回の理事会となります。本年度も引き続き宜しくお願ひ申し上げます。マスク着用の規制が緩和されたこともあってか、一気にコロナ感染に対する警戒が薄らぎ、街中は人で溢れかえっています。今朝も新幹線は外国人の観光客が一杯で、ノーマルな状態に戻りつつある感が有ります。これが景気を後押しすることを願うところです。

一方、ロシアによるウクライナ侵攻が終結したわけではないにもかかわらず、報道時間が減り、関心が薄らいでいることが残念です。さらにスーダンが政情不安に陥り、一刻も早い世界平和を祈るところです。

本日もご多忙の中、経済産業省から宮下係長がご出席頂いています。どうぞ宜しくお願いします。

ご報告（経済産業省 製造産業局 産業機械課 宮下係長様）

資料：最近の政策動向

宮下係長様より「最近の政策動向」についてご報告頂いた。

議 事

定款第 37 条に則り理事会決議を行った。同様に定款第 39 条に基づき、植田会長、矢都木監事、宮西監事を議事録署名人に選任した。

議 題

1. 審議・承認事項

- 1) 2022 年度事業報告・決算報告の件
- 2) 役員交代等について
- 3) 歯車の国際競争力に資する標準化推進補助事業の件

2. 報告事項

- 1) 次世代鋼材測定・評価手法開発プロジェクト事業報告

- 2) 海外視察について
- 3) 景況報告
- 4) その他

議 題 / 決定・検討事項

1. 審議・承認事項

- 1) 2022 年度事業報告・決算報告の件 資料 No. 1、資料 No. 2
2022 年度事業報告について植田会長、決算報告について事務局より説明を行った。
※2022 年度事業報告・決算報告の件について、賛成多数により承認された。

- 2) 役員交代等について 資料 No. 3
役員交代等について植田会長より説明を行った。
※役員交代等について賛成多数により承認された。

- 3) 歯車の国際競争力に資する標準化推進補助事業の件 資料 No. 4
歯車の国際競争力に資する標準化推進補助事業の件について辻委員長より説明を行った。
※歯車の国際競争力に資する標準化推進補助事業の件について賛成多数により承認された。

2. 報告事項

- 1) 次世代鋼材測定・評価手法開発プロジェクト事業報告の件 資料 No. 5
池滝委員長より次世代鋼材測定・評価手法開発プロジェクト事業報告の件について報告を行った。

- 2) 海外視察について
海外調査対応委員会 田口委員長欠席のため、植田会長より報告を行った。
前回の理事会でヨーロッパ EMO 視察を提案し皆様にご意見をいただいた。昨今の円安により非常に渡航費が高く EMO 視察だけで 100 万円を超えるといったプランニングで、最終的に会長へ一任とのお声をいただき検討したが、この金額で内容的に EMO 視察だけでは参加者を集めることは困難と考えヨーロッパ視察は断念した。
それに代わり、現在台湾視察を検討している。先月、台湾の歯車委員会（台湾商工会議所の一委員会）より日本歯車工業会と交流を持ちたいとの申し出をグリーンソニアジア 池垣社長経由でお話をいただき、8 名ほどのメンバーと会食も行った。とても友好的でぜひ台湾にお越しくださいとの話もあり、今進めようとしている。
先週には田口委員長と池垣社長とで対面での打ち合わせも行い、11 月の第 1 週か第 2 週頃 2 泊～3 泊ほどの短期での視察を考えている。内容としては台湾の歯車関係の企業訪問や、台湾歯車委員会の会員企業との懇親の場を設定する計画。詳細が煮詰まってきた段階であらためてご案内する。少しでもリーズナブルな料金設定のプランニングを立てていきたい。

- 3) 景況報告
数社より事業の景況について報告をいただいた。
・前年度比 10%程売り上げアップしたが、材料費の値上げや客先への値上げ申請が通らず

減収。

- ・建設機械、産業機械、工作機械、トラック業界等、各界堅調にお話しをいただけているが、取引先の能力の関係等もありお断りせざるを得ない状況が発生している。来期も同様の傾向と考えている。また客先からの部品が入ってこず注文がキャンセルされるといったこともあり、設備増強してまでの対応は必要ないと考えている。
- ・ロボット関係の需要が大きく、今年3月に新しい工場を竣工したため、機械の入れ替えや新調を行っている最中。
- ・小型中型ロボットが世界的に売れていない。EVに関する大型ロボット関係の注文をいただいているが、ケーブル等の部材が入手困難で納入が遅れている。
- ・船外機はウクライナ侵攻の影響で市場がゼロになった地域がある。電動工具や草刈り機等の農機具関係は世界的に在庫過多で生産調整を行っている。
- ・自動車関連ではハイブリッド系のギヤは部品・設備ともに好調。
- ・建設機械業界は堅調に推移しており、部品欠品で生産がストップするようなことはあまりなく、全体的な売り上げは昨年度比5%ほどアップしている。
- ・今年秋頃、インドネシア人を迎え入れる予定、来年度の新入社員採用も進めており、人材確保に力を入れている。
- ・一般産業機械関係は昨年度、一昨年度に対して以前のような伸びはないが増収増益。今期の経過状況は前年並みで4月以降の雲行きはあまりよくなさそう。原材料の値上げについては客先に100%認めていただけたが、人件費、加工費、電力費等についてはこれからといった状況。
- ・計画内の減収減益、無理に仕事を抱え込むと労務費、設備費等がかかるため、仕事の整理を行った。副資材費、労務費の値上がり分の価格転嫁は認めていただけたが、儲かっている客先とそうでない客先とでは価格交渉の難しさが違った。そうでない会社は困難。
- ・人材確保が難しい地域であることもあり、無人化を進めていく方向。夜勤を数年以内に昼勤に戻し、夜勤は設備で対応できるように進めていく考え。

4) その他

- ・事務局より5月26日(金)総会のお知らせを行った。
ザ・プリンスパークタワー東京 15:00～通常総会 16:00～懇親会
- ・菊地委員長より6月22日(木)経営研修会のお知らせを行った。
場所：ファナック株式会社
詳細は後日事務局よりご案内する。

資 料

最近の政策動向

- 【資料 No. 1】2022 年度事業報告書(案)
- 【資料 No. 2】2022 年度決算報告書(案)
- 【資料 No. 3】役員候補名簿(案)
- 【資料 No. 4】2023 年度歯車の国際競争力に資する標準化推進補助事業
- 【資料 No. 5】2022 年度次世代鋼材測定・評価手法開発プロジェクト事業報告

以上

2023年4月21日

一般社団法人 日本歯車工業会

会長 植田 昌克



監事 矢都木 力



監事 宮西 啓明

